

会 議 録

会議の名称	地域福祉計画進行管理委員会
開催日時	平成27年2月27日(金) 午後2時00分 開会 ・ 午後3時35分閉会
開催場所	市役所 5階 501会議室
議長氏名	栗原 正明
出席委員氏名	青山 友子 橋 裕子 山下 恵久子 栗原 正明 橋本 太郎 伊藤 祐一 白水 翠 八巻 泉 下里 隆子 岡崎 幸子 平岡 芳太郎 橋本 康夫 景山 恵美子
欠席委員氏名	岡本 一男
説明者の職氏名	生活福祉課 課長 齊木 安雄 生活福祉課 主幹 小久保 安浩 生活福祉課 副主幹 神山 幸彦
会議次第	別 紙
配布資料	平成26年度第2回入間市地域福祉計画進行管理(報告) 案 第2次入間市地域福祉計画 取り組み内容一覧(資料1) 入間市社会福祉協議会地域福祉コーディネーターの配置及び福祉困りごと何でも相談支援センターの開設について(資料1-1) 入間市地域福祉推進専門職情報交換会要領(資料1-2) ～命のひと声訓練～金子地区で第1弾！！認知症の徘徊者へ声かけ模擬訓練を行います(資料1-3) 地域福祉地区懇談会参加人数(資料1-4) 専門職情報交換会まとめ(各課所の業務・課題等)(資料2) 平成26年いるま福祉懇談会 地区別意見集計結果 大雪時の円滑な道路交通の確保へ、早めの対策にご理解とご協力を
事務局職員	生活福祉課 課長 齊木 安雄 生活福祉課 主幹 小久保 安浩 生活福祉課 副主幹 神山 幸彦

発言者	発言内容
	第2回会議の議事録署名人は、名簿順に従い山下恵久子委員となりました。
	議 題
	議題の(1)について資料を基に事務局説明
	(1)平成26年度入間市地域福祉計画各課取り組み内容について
伊藤委員	<p>活動拠点の確保に向けた取り組みとしては、平成26年度豊岡第二地区支え合い活動の活動拠点確保に向けた市の取り組みが充分ではなかったとのことでしたが、具体的にはどのようなことであったのでしょうか。また、先日「入間市公共施設最適化基本方針(案)」市民説明会に参加しましたが、この中で既存の施設を利用しての福祉施設への転用とか、複合施設の活用等の協議が行われていたが、豊岡第二地区の支え合い活動の活動拠点としては、公民館が良いということで、ここを活動拠点にしたのだと思いますが、なぜ十分な取り組みにならなかったのですか。</p>
市	<p>計画上は、地域の活動拠点は住民の総意で決定するようになっており、公民館を活動拠点にしますとはなっていませんが、公民館を活動拠点にしたいと考えていた方が多くなっているのは事実です。公民館も活動拠点とすることに否定的ではありませんが、施設面や他の利用者との関係もあり、スムーズな形で拠点の確保ができなかった面はあります。</p> <p>公共施設マネジメントについては、現在使用している施設が建設後30年40年と経過しており、これらの修繕や今後の使用等に関するあり方を考えていこうというものです。財政状況の厳しい中で、今後は新しい施設の建設も難しくなってきていますので、今ある施設の利用形態もあらためていこうという視点もあったと思います。福祉の拠点整備についても、公民館や学校等の施設も含めて今後、どのような利用が望ましいのか様々な議論をこれから始めようとしています。公共施設を今後どのように利用していくかということは大変重要なことですので、このことが今後の地域福祉の拠点整備に繋がっていかねばと思っています。なお、公共施設マネジメントに関する説明会について、福祉に関する関係者を対象に3月18日に開催を予定しています。この説明会については、後日ご案内させていただきます。</p>
橋本(康)委員	<p>豊岡第二地区の支え合い活動の開始にあたっては、公民館を活動拠点にするので、そこで活動してみてもいいかという支援を市から受けたわけではありません。我々が支え合いの組織を作ったので、公民館を活動拠点にしたいとお願いしましたが、公民館が使用することに理解が得られなかったため、市にお願いして使用させていただくようになったというのが実情です。</p> <p>計画上の拠点とは、個別の相談に対する関係者や専門家の協議の場所と書かれています。これは、住民の総意で決定する場所ではなくて、市が決定すべき場所だと思います。住民の総意といっても一人ひとりに聞くことはできませんから、市で活動したい場所を示して、それに反対がなければ、そこを拠点にしていくというのが本来のあり方だと思います。</p> <p>拠点に関することが非常に抽象的で、どのようなものかということが決まっていない。具体的にどう</p>

発言者	発言内容
	<p>いう組織でどのような方で構成されて、どのような活動をするのか、また現時点で活動拠点となる場所の候補としては、どこが考えられるのかを示して欲しい。</p>
市	<p>地域福祉計画の中でも、様々な相談ごとを1箇所で行えるようにすることを目指し、その相談場所を将来的には福祉圏域の9地区全てに設置することを目指しています。拠点としてどこが、ふさわしいかということになりますと、現状では新しい施設ができない状況を踏まえると公民館は利便性があり施設としても整っているということにはなります。そのため公民館を上手く活用できたらという思いはありますが、このことは今後の公共施設マネジメントにも繋がる部分ではありますが、既存の施設をどのように利用していくのかその協議と同時に、活動拠点についても示せていければと思います。</p>
橋本(康)委員	<p>今回、社会福祉協議会で地域福祉コーディネーターを配置したことは画期的なことだと思います。計画では、各地区に地域福祉コーディネーターを配置していくとしているので、出来るだけ早く配置を実現して欲しい。</p> <p>また、先程専門職による情報交換会を開催したとありましたが、ここでは今までも出来ていた筈の現状把握をされていますが、ここでは現状把握に対してどのように対応したかということが重要だと思います。</p>
市	<p>地域福祉計画に基づく、専門職の情報交換会としては、初回であったこともあり、まず、専門職同士が集まり、顔と名前を知り今後の連携がよりスムーズに行くようにすることに主眼がおかれまして。今後は、個別のケース検討や事例研修等も行っていきたいと思っています。</p>
栗原委員長	<p>地域の活動拠点について非常に抽象的で具体的なものが示されていないというご意見もありましたが、地域には地域ごとの実情という部分もありまして、具体的にしめすのが難しい面もあります。各地域には、それぞれの問題がありまして、それぞれに対応する地区拠点があるべきで、例えばある地区では、サロンを中心に行っていく拠点をつくらなければならないということがあるかもしれませんし、ある地区では児童問題を中心に行っていくかもしれませんし、また、ある地区では防災を中心に行っていくので、消防団の施設の近くに設置したいということがあるかもしれません。このようなことから具体的に示すのは難しいという面があることはご理解いただきたいと思います。</p>
岡崎委員	<p>報告(案) 2 一人ひとりのふれあいを大切にしよう ②地域に存在する資源の横断的連携強化の例としての「認知症徘徊者への声かけ模擬訓練」に関する記載の中に、この取り組みが「金子地区で生まれた」とありますが、「金子地区で開催された」に訂正し、誤解のない表現に改めて欲しいです。</p>
市	<p>この報告書は、市のホームページにも掲載し、市民の皆様に見ていただくこととなりますので、誤解を生む表現は訂正させていただきます。</p>
橋本(康)委員	<p>入間市社会福祉協議会で、地域福祉コーディネーターを配置したとありましたが、何名をどこに配置したのですか。</p>

発言者	発言内容
市	<p>地域福祉コーディネーターは今年度12月から1名入間市社会福祉協議会に配置されています。</p> <p>様々な相談を社協の中で受けていますが、事務室の中だけで活動をしているわけではありません。</p> <p>ひとつの例ですが、先日、東藤沢地区でご高齢単身の方で、最近体調が悪くごみが片付けられなくなったお宅がありました。当初は東藤沢の包括支援センターで携わっていましたが、介護度が上がった関係で現在は、居宅介護支援事業所で担当していました。このお宅のごみの問題が、社協の地域福祉コーディネーターに相談され、相談の結果、居宅介護事業所、地域包括支援センター、ささえあい東藤沢、社協、市の連携でごみの片付けが行われました。</p> <p>今後、地域福祉コーディネーターの数を増やしていく計画で、平成27年度には社協でもう一人配置する計画です。</p>
橋本(康)委員	最終的にはどのような配置になるのですか。
市	最終的には、社協が市内9地区の福祉圏域ごとに1名ずつ配置する計画となっています。
橋本(康)委員	地域福祉コーディネーター配置についての市からの予算はどのようになっているのですか。
市	<p>現在、社協の地域福祉コーディネーター配置にあたり、市の地域福祉基金を取り崩して、社協に補助金を支出する形で配置費用に充てています。</p> <p>(2)平成26年度入間市地域福祉計画進行管理について</p> <p>平成26年度第2次入間市地域福祉計画進行管理(報告)案を基に事務局説明</p>
栗原委員長	<p>事務局から報告案として、叩き台の説明がありましたが、これは入間市地域福祉計画進行管理委員会として報告するものです。本日、委員の皆様からこれについてのご意見をいただくと同時に、今後事務局にファックス等でも意見を出していただくということによろしいですか。</p>
市	はい。後日、ご意見等がありましたら、ファックス等で事務局までご連絡をお願いします。
橋本(康)委員	1 安心して暮らせる福祉サービスをめざそう の中に、「児童福祉の分野や介護保険、生活困窮者への支援の分野等で制度改正も行われることから、～」とありますが、これについては制度改正の進捗状況によって表現の仕方も変わってくると思うのですが。
市	<p>4月から児童福祉の分野では、新たな子育て支援ということで、現在の体制から支援担当課と保育担当課に組織を変更して対応していく予定です。また、生活福祉課でも生活困窮者自立支援法に基づいて生活保護に至る前の段階で生活に困窮している方を支援していく制度が始まります。</p>
橋本(康)委員	具体的に新たな制度が始まるのであれば、制度の改正に対応します。とかもう少し踏み込んだ表現の方がよいと思います。この表現だと傍観者的に感じられます。
伊藤委員	<p>日頃、地域の民生委員さんともお話しをする機会があるのですが、更に地域の福祉を推進していくにあたっては、自治会との関係性をもっと明確にしていくことが必要ではないかと思います。</p>
市	自治会については、地域ごとに特色や取り組み状況等にかなりの違いがあると感じます。民生委員

発言者	発言内容
	さんとは、定期的な会議を開催したり、研修等を通してかなり密接な関係は保っているのですが、福祉関係では直接自治会と何かを一緒に行うような機会は少なくなっています。
	近隣助け合い活動推進会については、社協が中心になって行っていますが、その部分での接点ということが考えられると思います。委員会として、報告書に自治会との関係性について、ご意見をいただければ、そのご意見を報告書に反映したいと思います。
橋本(太)委員	地域福祉は民生委員で行うということには限界があります。現在市内に251名の民生委員が居ますが、この民生委員だけで市内全ての地域の地域福祉向上に関する取り組みを任せるとするのは無理があります。地域福祉は地域を巻き込んだものとしなければ、向上が望めません。そのためには、福祉部だけではなく、自治文化課等の市民部も巻き込んだものとしなければ、計画の進展はできないのではないかと思います。このことを報告書にも書き込む必要があると思います。
市	地域福祉計画の中でもコミュニティーが重要な要素として捉えられています。そのためにも自治会の役割は重要です。自治会とそれ以外にも様々な団体を巻き込んだ形での地域福祉づくりが重要と思います。
下里委員	報告書を市民の皆様方に見ていただくということを考えたら、この報告書(案)に歯がゆさを感じます。しかしながら、先程もお話しされていたように自治会にも地域福祉に対する取り組みに温度差があるのも事実だと思います。その中で金子地区で、「認知症徘徊者への声かけ模擬訓練」が行われたことは、4年間「認知症サポーター・フォローアップ講座」を実施してきたことでできた大きな成果だと思います。この部分の表現が一部誤った認識もありますので、適正なものとしていただきたいと思います。
市	適正な表現に改めます。
	(3)その他
市	平成26年2月の大雪に関するアンケート調査を入間市地域福祉計画進行管理委員の皆様にお願いしましたが、その後の行政の対策等について説明。 国道16号(管理:国土交通省大宮国道事務所) 河原町地内から小谷田2丁目地内までの2.3kmの区間について、大型車等の立ち往生が発生、もしくは大規模な立ち往生が発生するおそれがある場合には、早い段階での通行止めを行い、集中的・効率的な除雪作業の実施。また、除雪体制の強化、情報提供の充実、広域的な支援体制を含め、関係機関間での連携・協力のもと除雪体制を整え、大雪への対応にあたります。 3桁の国道と県道(管理:飯能県土整備事務所)国道299号バイパスと463号バイパス、入間市役所前から河原町国道16号に至る国道463号の優先除雪を実施。 入間市道(管理:入間市)積雪10cm未満は、融雪剤の散布、坂道の除雪による危険排除を優先。積雪10cm以上の場合、入間市駅・武蔵藤沢駅ロータリー及び幹線道路(9路線)の優先除雪、入間市ホームページ(緊急ブログ)での情報提供、FMチャッピーでの情報提供を実施。

